

第 8 回全国中学校（教科）柔道指導者研修会開催要項
 ≪国庫補助事業≫

- 1 趣 旨 平成 24 年度から完全実施された中学校武道必修化の充実に向け、日本全国で柔道を指導する中学・高校・大学・実業団等の指導者を対象に伝達講習のできる中核的指導者を養成するとともに、各都道府県において柔道を専門としない中学校保健体育科教員の授業力向上に資する。
- 2 名 称 第 8 回全国中学校（教科）柔道指導者研修会
- 3 主 催 （公財）日本武道館、（公財）全日本柔道連盟
- 4 後 援 スポーツ庁
- 5 期 間 平成 29 年 11 月 3 日（祝・金）～5 日（日）まで 2 泊 3 日
- 6 会場及び宿舎 日本武道館研修センター（千葉県勝浦市沢倉 582）
 TEL 0470 - 73 - 2111 FAX 0470 - 73 - 2819 ※勝浦駅から徒歩 15 分
- 7 募集人数 100 名（原則として各県 2 名）
- 8 参加資格 (1) 都道府県柔道連盟（協会）の推薦を受けた保健体育科教員で、本研修の全課程を受講し、その内容を伝達講習できる中学校柔道の指導的立場にある者 1 名。
 (2) 柔道を専門としないが柔道指導実践に意欲的な保健体育科教員、または学校保健体育を担当する指導主事。
 (3) 保健体育科以外の教科教員で柔道授業・部活動に関与している者。
 (4) 上記の要件を満たし、各都道府県において 3 名以上の参加を希望する場合は自費参加を認める [2 泊 5 食付：11,700 円（税別）]。ただし、自費参加者の受け入れ総数は 20 名以内とする。
 (5) 上記以外に主催者が特に参加を認めた者。
- 9 申込先及び期日 (1) 都道府県柔道連盟（協会）を通して、（公財）全日本柔道連盟総務部普及振興課宛に、2 名の参加申込書を提出すること。
 (2) 提出期限：9 月 8 日（金）必着
 (3) 自費参加の希望がある場合、各都道府県柔道連盟（協会）は、（公財）全日本柔道連盟総務部普及振興課まで連絡すること。
- 10 参加者補助 (1) 参加費：無料とする。
 (2) 資料代（テキスト等）は主催者が負担する。
 (3) 日本武道館が定める旅費計算基準（内規）に基づく往復交通費及び宿泊費（食事付）を各都道府県 2 名まで補助する。ただし、所属団体等より往復交通費の補助を受けている参加者には補助しない（申込書に必ず記入のこと）。
- 11 所持品 柔道衣（白色）、トレーニングウェア、洗面具、筆記具、健康保険証、印章 等
 ※未経験者（初心者）は、トレーニングウェアでの参加を認める。
- 12 研修計画 別紙「実施内容・日程表」により実施し、全課程を修了した者には主催者より修了証を授与する。
- 13 その他 参加者には、日本武道協会設立 40 周年記念『中学校武道必修化指導書（DVD3 巻付）』（武道編・柔道編）を無償配布する。
- 14 問合せ先 **【研修内容・日程、申込書提出等に関して】**
（公財）全日本柔道連盟 総務部普及振興課
 〒112 - 0003 東京都文京区春日 1 - 16 - 30 講道館本館 5F
 TEL 03 - 3818 - 4199 FAX 03 - 3812 - 3995（土・日・祝日を除く）
 E-mail：shidou@judo.or.jp
【旅費、会場及び宿舎等に関して】
（公財）日本武道館 振興部振興課
 〒102 - 8321 東京都千代田区北の丸公園 2 - 3
 TEL 03 - 3216 - 5134 FAX 03 - 3216 - 5117（土・日・祝日を除く）

第8回全国中学校(教科)柔道指導者研修会 実施内容・日程表

日付 時間	11月3日(祝・金)	11月4日(土)	11月5日(日)	
午 前	6	6:00	6:00	
		起床	起床	
	7	6:30	6:30	
		体 操	体 操	
	8	7:00	7:00	
		朝 食	朝 食	
	9	8:00	8:00	
		準 備	準 備	
	10	9:00	9:00	
		講習⑥【共通】 (実技)5. 固め技の基本指導 高橋 健司	9:10	講習⑪【共通】 学校教育と柔道 田中 裕之
	11	9:50	10:00	9:10
		休 憩	講習⑦【グループ別】 (実技)6. 抑え技の指導法 講師及び研究者	講習⑫【共通】 今後の評価の方向性 磯村 元信
12	10:50	10:30	10:30	
	11:00	10:35	10:35	
	講師・助講師・VTR係員・職員集合 打合せ・昼食	休 憩	休 憩	
	11:00	10:45	10:45	
	11:00	11:00	11:00	
	12:00	講習⑧【グループ別】 7. 指導と評価が一体化した指導例 研究者の発表 I	閉講式・修了証授与	
午 後	13	12:00	12:00	
		集合・受付	昼 食	
	14	13:00	13:30	13:30
		開講式 (オリエンテーション) 中学校武道必修化指導書 「武道編」DVD上映	講習⑨【グループ別】 8. 指導と評価が一体化した指導例 研究者の発表 II	*講習は、講師及び中学校武道 授業指導法研究事業【平成29年 6月実施・講道館】に参加した研 究者による指導を中心に進めま す。
	15	13:50	14:50	
		講習①【共通】 新学習指導要領と柔道 熊野 真司	休 憩	
	16	14:20	15:10	
		休 憩	講習⑩【グループ別】 9. 指導と評価が一体化した指導例 研究者の発表 III	
	17	14:30	16:00	
		講習②【共通】 (実技)1. 基礎知識・導入・礼法 向井 幹博	休 憩	
	18	15:20	16:10	
		休 憩	意見交換会②【共通】 グループ討議 まとめと発表	
19	16:20	18:00		
	講習③【共通】 (実技)2. 基本動作 高橋 健司	夕 食		
20	16:30	19:00		
	休 憩	入 浴		
21	17:20	20:00		
	講習④【共通】 (実技)3. 受け身 鮫島 康太	懇 親 会		
22	17:30	20:30		
	講習⑤【グループ別】 (実技)4. 膝車・大腰・体落 講師及び研究者	入 浴		
23	18:20	21:30		
	休 憩	就 寝		
24	18:30	22:00		
	意見交換会①【共通】 テーマ「指導と評価の一体化」 グループ討議	就 寝		
25	19:30			
	懇 親 会			
26	20:00			
	入 浴			
27	20:30			
	入 浴			
28	21:30			
	就 寝			
29	22:00			
	就 寝			

※都合により、内容を変更する場合があります。
※適宜、休憩を入れます。

「第8回全国中学校（教科）柔道指導者研修会」参加申込書

1. 該当するカテゴリーに☑をつけてください。

- カテゴリーA…中学校柔道の指導的立場にある者。
- カテゴリーB…柔道を専門としないが柔道指導実践に意欲的な保健体育科教員。
- カテゴリーC…保健体育科教員以外で柔道授業・部活動に関与している者。
- カテゴリーD…その他。

(フリガナ) 氏 名							
生年月日	1 9	年	月	日	生	(歳)
勤 務 先							
所属部署、役職等							
勤務先住所	〒						
	TEL				FAX		
学校授業における柔道指導の経緯							
柔道指導歴 授業 部活	年 年	柔道の段・級位	本来、専門とする体育科目名				
		段 ・ 級					
自宅住所	〒						
	TEL				FAX		
	携帯電話						
E-MAILアドレス	@						
書類送付先	自 宅 ・ 勤 務 先						
所属長宛 派遣依頼文書の送付	必要・不要	派遣依頼先役職： ご氏名：					
派遣依頼文書送付先	自 宅 ・ 勤 務 先 本 人 宛 ・ 勤 務 先 上 記 役 職 者 宛						
2日（木）前泊希望 （宿泊費自己負担）	希望する ・ 希望しない						
研修会に参加する理由を簡潔に記載してください。 ※必ず記載すること。							

*平成29年9月8日（金）までに、ご提出ください。

平成 29 年度 第 8 回全国中学校（教科）柔道指導者研修会
課題の提出について（ご依頼）

平素より本連盟の諸事業・強化事業にご理解・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。
お忙しい時期かと存じますが、課題の提出をよろしくお願い致します。内容につきましては、同封の「平成 29 年度第 8 回全国中学校（教科）柔道指導者研修会課題提出について」をご確認ください。

記

1. 課題の内容

- (1) 評価方法について
- (2) 指導案の作成について

2. 提出期限 10月13日（金）

3. 提出先 (公財) 全日本柔道連盟 総務部 普及振興課 宛

F A X : 0 3 - 3 8 1 2 - 3 9 9 5

E-mail : shidou@judo.or.jp

※F A X、E-mail どちらでも可

4. お問い合わせ (公財) 全日本柔道連盟 総務部 普及振興課

T E L : 0 3 - 3 8 1 8 - 4 1 9 9

以上

平成29年度第8回全国中学校(教科)柔道指導者研修会 の課題提出について

高橋 健司

1. 評価方法について

- (1) 柔道実技の評価とする。ひとつの技術に絞っても、複数の技術を複合させても評価対象になるのであれば良い。具体的に「何を評価するのか」「評価点」の配点方法などについて解説する。以下、項目を例示する。
- ① 単独動作による基本動作の指導及び評価
 - ② 相対動作による基本動作の指導及び評価
 - ③ 対人技能による投げ技の指導及び評価
 - ④ 対人技能による固め技の指導及び評価
- (2) 対人技能では「取」と「受」の原則で、指導及び評価を明記する。
- (3) 観点別評価の項目を明記する。
- ・意欲、関心、態度
 - ・思考、判断
 - ・技能
 - ・知識、理解

2. 指導案の作成について

- (1) どこまで指導した内容からなのか、指導項目、指導手順、指導内容を明記する。
- (2) 「指導と評価の一体化」として1単位時間を評価の時間として位置付けて評価の方法、評価の観点、具体的配点について、明記する。
- (3) 下記A4版1枚に収まる評価指導案とする。 ※ 下記記入例を参照

指導項目

「大外刈り」 → 思考・判断

指導済みの指導内容

- ・ 礼法の指導は意義、所作等、すべて指導した。基本動作である姿勢、組み方、進退動作、崩し、体さばきも単独動作で済ませている。

などなど

指導内容	評価の方法	評価の観点	具体的配点
<ul style="list-style-type: none"> ・ 4列横隊による整列隊形で安座させる。 ・ 大外刈りについて、前回の注意点を復習させる。 <p style="text-align: center;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「取」と「受」を交代して進退動作を駆使して投げる。 <p style="text-align: center;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「取」は移動しながら、つくり、崩し、体さばきを活用しているか。 <p style="text-align: center;">など</p>	<p>5 完璧</p> <p>4 体さばきが△</p> <p>3 つくりが△</p> <p>2 崩していない</p> <p>1 投げることが×</p> <p style="text-align: center;">など</p>

(注) 順序立てた詳細な1単位時間の指導案を1枚にまとめ、作成する。